

厚生科学審議会 科学技術部会「ヒト胚研究に関する専門委員会」(第5回)
科学技術・学術審議会 生命倫理・安全部会「生殖補助医療研究専門委員会」(第4回)
議 事 次 第

1. 日 時 平成 18年5月12日(金) 13:00~16:00

2. 場 所 文部科学省 10F3~4会議室
東京都千代田区丸の内2-5-1

3. 議 事

(1) ヒト受精胚の生殖補助医療研究目的での作成・利用に係る制度的枠組みの検討について

① ヒアリング

「ヒト精子を取り扱う研究の現状について」

<奥山 明彦 委員>

<辻村 晃 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学(泌尿器科)講師>

② 規制対象として検討する範囲について

(2) その他

4. 配付資料

資料1 (奥山 明彦 委員・辻村 晃 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学(泌尿器科)講師提出資料)

資料2 生殖補助医療研究の範囲(具体例による検討)

資料3 ヒト受精胚の生殖補助医療研究目的での作成・利用に係るガイドラインの規制対象として検討する範囲について(検討のためのたたき台)

参考1 検討事項(たたき台)(第2回委員会配布資料(資料7))

参考資料 緑色の紙ファイル
ピンク色の紙ファイル
水色の紙ファイル

文部科学省研究振興局 (2006.05.12)

第4回科学技術・学術審議会生命倫理・
安全部会生殖補助医療研究所専門委員会

大阪大学大学院医学系研究科
器官制御外科学(泌尿器科)

辻村 晃・奥山明彦

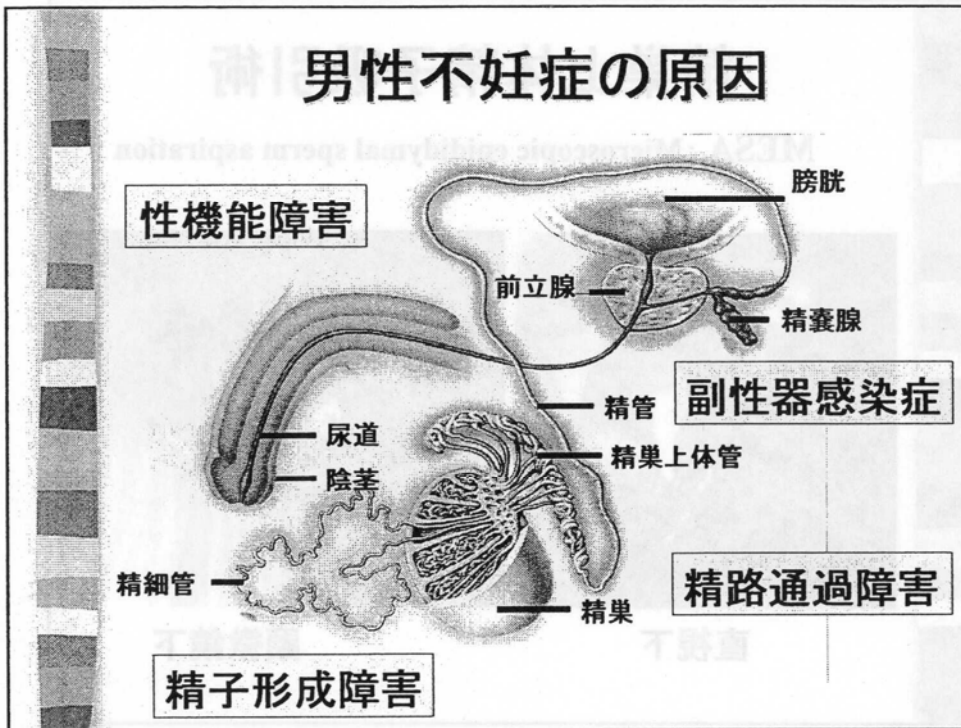
与えられたテーマ

ヒト精子を取り扱う研究の現状

- ・生殖補助医療研究でヒト精子を取り扱う研究
- ・大学や研究所において精子を取り扱う研究の傾向
- ・研究に用いるヒト精子の入手方法
- ・動物実験との関係
- ・ヒト精子を取り扱う研究と、ヒト卵子・ヒト胚を用いる研究の違いについて
- ・生殖補助医療研究以外でヒト精子を取り扱う研究

ヒト精子を研究用に提供していただく際の
インフォームドコンセントのとりかた

男性不妊症の原因



男性不妊症の原因-2193例の検討-

1. 精子形成障害 (2052例 : 93.6%)	
a. 特発性 (原因不明)	1277
b. 精索静脈瘤	612
c. 染色体異常 (Klinefelter症候群など)	51
d. 停留精巣	33
e. 内分泌障害 (ゴナドトロピン欠損症、高プロラクチン血症など)	31
f. 精巣炎	21
g. その他	27
2. 精路通過障害 (77例)	
先天性精管欠損症、精管閉塞症、ヘルニア術後など	77
3. 副性器感染症 (37例)	
膿精液症、精巣上体炎、精管炎など	37
4. 性機能障害 (27例)	
性交障害、射精障害	27

(大阪大学・健保連大阪中央病院)